

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者在宅福祉給付事業				会計	款	項目	大	小
					01	03	01	03	03
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	高齢者生きがい推進課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり			主管課長	横山 友二			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	寝具の乾燥及び消毒を行うことが困難な65歳以上の在宅高齢者	意図	高齢者の在宅生活の充実を図るとともに、要介護・要支援状態の進行を予防する。
事業内容	寝具乾燥サービスの提供を行うことで、高齢者の在宅生活の充実を図るものとする。			
事業開始から現在までの状況変化	寝具乾燥は平成6年度、日常生活用具は平成2年度開始。平成21年度までは高齢者住宅改造助成事業及びひとり暮らし高齢者緊急通報装置給付事業も同一事業として行っていたが、平成22年度に事業を分離し事業経費を明確にした。日常生活用具の給付は、平成25年度末で事業を終了した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 布団乾燥実施件数	683	771	796	件	↑↑↑	
	② 日常生活用具助成件数	0	0	0	件	↓↓↓	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	寝具乾燥サービスは、高齢者のみ世帯を対象に提供を行っており、利用は増加傾向にある。布団の上げ下ろしが困難な高齢者は多く衛生面から継続する必要のある事業である。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,649,654	2,781,674	2,920,662			
事業費(b)(円)		1,950,954	2,090,674	2,167,662			
うち一般財源		1,950,954	2,090,674	2,167,662			
職員給与費(c)(円)		698,700	691,000	753,000			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	広報及びホームページ等で周知を徹底することで、サービスを必要とする方に提供できるようにする。	③取組の課題	高齢者の増加に伴い、対象者が増加することが想定できる。引き続きサービスを必要とする高齢者に事業を分かり易く周知する。
②今年度(H27)に実施した取組	出前講座等でPRを行い実施件数は上昇した。窓口や電話での問い合わせに対し丁寧に制度の説明を行った。	④今後の改善計画	引き続き事業の周知に努めると共に電話や窓口において高齢者に分かり易い説明を行う。